

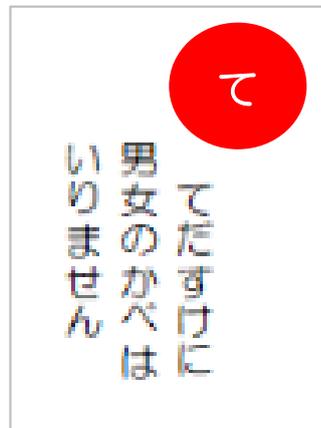
くらよし男女共同参画推進スタッフの活動(2018~2022)

「くらよし男女共同参画推進スタッフ」は、倉吉市の男女共同参画社会の実現をめざし、啓発資料の作成や町内学習会に出かけて朗読劇をするなど、スタッフとして啓発活動を行っています。

2018(平成30)年度 くらよし男女共同参画・防災カルタの作成

スタッフが倉吉市内の地区公民館や小学校の子どもたちに読み札の文章作成の協力を呼びかけたり、スタッフ自ら文章を考え完成させました。

このカルタを地域の行事などで活用していただき、多くの人に「男女共同参画」「男女共同参画の視点での防災」について身近に感じてほしいという願いが込められています。



2019(令和元)年度 啓発資料の作成

防災カルタの活用

よりん彩記念日フォーラム(6月)

イザ!カエルキャラバン1コーナーで、ビンゴとカルタを組み合わせ子どもを中心に多くの参加者(71人)で賑わいました。カルタの読み上げ等コーナー運営をスタッフが行いました。



町内学習会での啓発

身近な家庭の状況などを演じ、地域活動や家庭生活を振り返ってもらう、2つの朗読劇を披露しました。

(自治会役員について、介護について)



啓発資料の作成

家庭・地域・職場のあらゆる場面で男女共同参画の視点で考えていただくためパンフレットを作成しました。

スタッフが協議を重ね、男女共同参画を知らない人にでも見ていただきやすい内容にと



グループワークの実施

昨年度は、「第12次倉吉市総合計画」「第6次くらし男女共同参画プラン」の策定年となっており、「市民参加による計画づくり」を実践し、今後の市政に市民のみなさんの意見を活かすため、「10年後の倉吉を考えよう！～男女共同参画でまちを元気にするために今、何をすればいいと思いますか？～」をテーマにグループワークを行いました。



2021(令和3)年度 日本女性会議分科会プレイベントへの参加

日本女性会議分科会プレイベントへの参加

《第1回》「女性の活躍」

身近なテーマから様々な分野で女性活躍を考えるため、新聞記事から女性の活躍やジェンダーバイアスについて考えました。

《第2回》「アバターを介してのネットフォーラム」

性別、年代に関わりなくネット上でコミュニケーションをとるための方法など、10月の本番に向けてVRChatを体験しました。

新型コロナウイルス感染予防のため、定例会の開催は1回でしたが、日本女性会議についての理解を深めるため、分科会プレイベントへの参加しています。



2022年(令和4)年度「日本女性会議2022 in 鳥取くらし」へ参画



日本女性会議とは

男女平等参画社会の実現に向けた課題解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図ることを目的とした、男女共同参画に関する国内最大級の会議

大会当日は大会ボランティアとして参画しました。



2022年(令和4)年度

日本女性会議を契機に「住み続けたい」と思えるまちづくりを考える会の開催

グループワークの実施

性別にとらわれずだれもが能力を發揮し活躍できる住みよいまちをつくるため、男女双方の視点によるまちづくりと、世代を越えて地域活動へ参画し、みんなで補い支え合うまちづくりを目指し、継続的に地域の皆様の声を聞く機会として、自治公民館協議会長、日本女性会議企画部会員と合同で開催しました。

